

まほろばの湯

入館100万人達成

「まほろばの湯・湯親館」では3月28日、入館者が100万人を突破しました。

10時30分ごろに兄弟7人で入館した茨城県東海村の川又すえ子さん（63歳）が100万人目となりました。記念品と入浴券を受け取った川又さんは「泉質がよく、とても温まるので気に入っています。月に1度は来ていますが、まさか自分が100万人目に当たるとは」と驚きながらも、喜びを隠せない様子でした。まほろばの湯は開館以来約5年11カ月で100万人を突破したことになります。



右から2人目が川又さん

作業所ポニー

しいたけのコマ入れ

作業所ポニーの通所者と保護者15人が3月16日、そば処霧ヶ岳でしいたけのコマ入れを行いました。

参加者は少しでも収入を得ようと、約400本のほだ木に木づちでコマを入れる作業に精を出しました。少しずつではありますが、まいたけの販売は実績を上げており、今年は昨年仕込んだしいたけが収穫できると楽しみにしています。今後このような作業が拡充し、収益につながる施設になることを期待し、がんばっています。



川上賢二さん・容子さん夫妻

「とちぎ元気賞」を受賞

第1回栃木県元気な農業コンクール首都圏農業部門の表彰式が2月21日、県公館で行われ、川上賢二さん・容子さん夫妻（小川）が畜産部の県知事賞、「とちぎ元気賞」を受賞しました。

この表彰式は、複数の県農業関係コンクールが統合、見直しされ初めて開催されたもので、川上さんは、経営、生産技術ともに優れているうえ、地域農業の担い手として本県農業者の模範となる経営が認められ、受賞したものです。



戦没者・消防殉職者

合同追悼式

小川総合福祉センターあじさいホールで4月22日、戦没者・消防殉職者合同追悼式がしめやかに行われ、遺族や来賓約200人が参列しました。

式典で川崎和郎町長は「尊い命を戦争に、あるいは消防業務に捧げられた御霊に対し、その犠牲により培われた教訓を胆に銘じ、住民の生活の安定と安心、福祉の向上を目指し、諸英霊のご恩に報う決意です」と追悼の辞を述べ、議会議長や遺族代表などの来賓が追悼の碑に向かい、次々と献花しました。



100歳の荒井富美子さんに

祝い金と花束を贈呈

4月28日、100歳を迎えられた荒井富美子さん（馬頭）に、川崎和郎町長から祝い金と花束が贈られました。

息子の茂雄さんは「母が生まれた明治41年4月28日は、第1回ブラジル移民が神戸港から笠戸丸で出航した記念すべき日」であり、また、「戦中・戦後の品不足の中一所懸命働き、7人の子どもを育ててきた」と昔を振り返り、語っていました。

町長から花束が手渡されると、「大変なお花を頂いてありがとうございます」と笑顔で答えていました。



# 入学・入園 おめでとう



・馬頭小学校	67名
・大内小学校	4名
・谷川小学校	12名
・大山田小学校	5名
・馬頭西小学校	11名
・小川小学校	41名
・薬利小学校	5名
・小川南小学校	14名
・馬頭中学校	127名
・小川中学校	71名

**小・中学校などで入学式**

2中学校が4月8日、8小学校が9日、2幼稚園が10日、それぞれの施設で入学式や入園式が行われました。

式典で担任の先生から一人ひとりの名前が呼ばれると、真新しい制服に身を包んだ新入生や新入園児の緊張した声が会場に響き渡りました。新しい学校、幼稚園生活に早く慣れてたくさん友だちを作り、楽しい毎日にしてください。

なお、各小・中学校1年生の人数は次のとおりです。



小川幼稚園



ひばり幼稚園



小川南小



小川南小



馬頭中



馬頭小



小川幼稚園



小川中



小川中



馬頭中